

岡本眸の春の句

春障子雨濃くなれば息見えて
水温む逢ひて多忙な顔ばかり
溢るるを片手抑へに春菜籠
勢ひては夕日流して雪解川
眼冷え来て遠野火を見離しぬ

松岡隆子 抽